

認知バイアスの例

	成功	失敗
自分(たち) 内集団	人(自分)の おかげ	状況の せい
他人(たち) 外集団	状況の おかげ	人(他人)の せい

セルフイメージが低い人の例

	成功	失敗
自分(たち) 内集団	状況の おかげ	人(自分)の せい
他人(たち) 外集団	人(他人)の おかげ	状況の せい

一般的な認知バイアスとは真逆になる

認知バイアスの例

	成功	失敗
自分(たち) 内集団	① 人(自分)の おかげ ②	④ 状況の せい ③
他人(たち) 外集団	⑥ 状況の おかげ	人(他人)の せい ⑤

①自己奉仕バイアス

②自己高揚バイアス

③自己防衛バイアス

④基本的帰属錯誤

⑤行為者観察者バイアス

⑥究極的帰属錯誤

自己奉仕バイアス

	成功	失敗
自分(たち) 内集団	人(自分)の おかげ	状況の せい
他人(たち) 外集団	状況の おかげ	人(他人)の せい

自分の「成功」は、自分のおかげ ⇒ 「内的原因」に意味を求める
自分の「失敗」は、状況のせい ⇒ 「外的原因」に意味を求める
「できるだけ自分を守りたい」という傾向

自己高揚バイアス

	成功	失敗
自分(たち) 内集団	人(自分)の おかげ	状況の せい
他人(たち) 外集団	状況の おかげ	人(他人)の せい

自分の「成功」は、自分のおかげ ⇒ 「自尊心を高めたい」という傾向

自己防衛バイアス

	成功	失敗
自分(たち) 内集団	人(自分)の おかげ	状況の せい
他人(たち) 外集団	状況の おかげ	人(他人)の せい

自分の「失敗」は、状況のせい ⇒ 「自分で責任を負いたくない」傾向

基本的帰属錯誤

	成功	失敗
自分(たち) 内集団	人(自分)の おかげ	状況の せい
他人(たち) 外集団	状況の おかげ	人(他人)の せい

「自分」の失敗は、「状況」のせい / 「他人」の失敗は、「その人」のせいにする傾向
イメージで人を判断し、自分の失敗は棚上げしがち

行為者—観察者バイアス

	成功	失敗
自分(たち) 内集団	人(自分)の おかげ	状況の せい
他人(たち) 外集団	状況の おかげ	人(他人)の せい

他人の「失敗」は、その人のせい ⇒ 人を相手の「性格・能力」で判断する傾向

究極的帰属錯誤

	成功	失敗
自分(たち) 内集団	人(自分)の おかげ	状況の せい
他人(たち) 外集団	状況の おかげ	人(他人)の せい

他人の「成功」は、状況のせい ⇒ 相手の「外的原因」に意味を求める
他人の「失敗」は、人のせい ⇒ 相手の「内的原因」に意味を求める
他人のいいところに目を向けず、悪い点を咎めてしまう傾向